

全日本バレーボール小学生大会 7日に町田市立総合体育館で初戦 狛江セブンは初の全国切符

小学生のバレーボールチーム「狛江セブン」が第44回全日本バレーボール小学生大会全国大会に初出場する。

昭和53年の創部以来46年目でつかんだ初の全国大会の切符に選手はもちろん広瀬雅一監督らチーム関係者や地域では盛り上がりを見せている。また、チームOGの岩崎こよみさんも日本代表としてパリオリンピックに出場しており、二重の喜びにわいている。

狛江セブンは当初女子だけだったが、数年前から男子も入部、混

合チームとして試合に参加している。

6月16日回の都大会準決勝でWING8を下して全国大会出場を決めたのに続き、6月30日回の決勝で瑞光VCをセットカウント2対1で破って初優勝した。これまで都大会に15年連続出場し、秋の都大会で2回優勝して関東大会へは出場しているが、全国大会まである夏の都大会での優勝は初。

全国大会では8月7日(金)午前9時30分から町田市立総合体育館で行われる第1試合で藤沢SKY(神奈川)と、第3試合で大曲(秋田)と対戦する。

キャプテンの嶋崎碧斗さんは「緊張せずにいつも通りにプレーして上位を目指します」と全国大会への決意を語っている。

約30年にわたって



都大会で優勝した選手たち

Start & Challenge 子どもの放課後の居場所作りや出前講座開催

「まなびや」(宮田葉月代表)が、毎週金曜午後3時~5時にあいとぴあセンターで小学生の居場所作り事業として創作活動や様々な企画への参加を通して学びの機会創出を行っている。

地域に子どもがいられる場所が少なくなった現在、自由に過ごせる放課後の居場所を作りたいと、令和3年6月から開催。集まった子どもたちはお絵かきなどの創作活動や宿題をしたり、一緒に実験活動をして過ごしている。和泉小学校が多いが、他校の児童も訪れる。申し込みは不要で参加は無料。



放課後に勉強や創作をする子どもたち

今年度は狛江市市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受け、地域の企業や個人事業主を講師に招いて、仕事の意義や内容を子どもに伝える出前講座「放課後ディスカバリープロジェクト」を全5回開催する予定。講座はいつでも参加無料だが、事前申し込みが必要。日程や内容、申し込みは「まなびや」Instagram(二次元コード)参照。

問い合わせはEメール manabiya.0823@gmail.com 宮田さん。



チームに関わり、10数年前に監督に就任、岩崎選手も指導した広瀬監督は「今年のチームは体は小さいが、本番でのすばらしい集中力が勝因だと思う。ぜひ、地元の人に選手の活躍を応援するため、観戦に来てほしい」と話している。

老人ホームに大輪のひまわり 福島復興願うプロジェクト

西野川3丁目にある有料老人ホームSOMPOケア ラヴィーレ狛江で数十株のひまわりが今年も大輪の花を咲かせ、道行く人を楽しませている。

このひまわりは、東日本大震災からの復興を願って続けられている「福島ひまわり里親プロジェクト」に4年ほど前から同ホームが協力、入居者や子ども食堂の利用者が福島から送られてきた種をまいて育て、種を収穫して再び福島に送るといったもの。返送された種は翌年全国の里親に送られるほか、一部はひまわり油に加工され、バイオディーゼル燃料としてバスを走らせている。

ホームでは、学校や地域の施設などに呼びかけてひまわりのネットワークを作りたいと話している。



ラヴィーレ狛江のひまわり

老人クラブ連合会がコンサート アルゼンチンタンゴの生演奏

狛江市老人クラブ連合会が6月25日(金)に西河原公民館で「初夏のコンサート」を催した。ピアノ奏者の池田みさ子さん、バンドネオン奏者の池田達則さん、ヴァイオリニストの山本江梨子さんが



タンゴを演奏する(左から)池田みさ子さん、池田達則さん、山本江梨子さん

「ラ・クンパルシータ」「フェリシア」「エルチョコクロ」などのアルゼンチンタンゴの名曲を交えて10曲を披露、会場を埋めた約200人の参加者たちは演奏に合わせて手拍子をしたり、若い頃をしのぶなど、生の演奏を楽しんでいた。

農業体験の親子10組を募集 大根・ジャガイモ・白菜栽培

JAマインズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。

都市農業への理解と食農教育を目的に催しているもので、猪方3丁目の畑で大根とジャガイモ、白菜を栽培して収穫する。

日程は9月14日(土) 田施肥・畝づくり、ジャガイモ植え付け、10月12日(土) 除草作業・大根・白菜種まき、11月23日(土) 収穫・片付けの3回(天候などで変更の可能性あり)。初回は午前9時にJAマインズ狛江支店集合。参加費は1世帯1,000円(傷害保険代、種子・肥料代など)。対象は狛江市在住の幼児・児童とその保護者で定員10組(応募多数の場合抽選)。

希望者は8月23日(金)までに電話・ファックスで下記へ申し込む。申し込み・問い合わせ ☎ 3488-3435 FAX 3488-2830 JAマインズ狛江支店 経済指導部門。

救急件数最多、救急車ひっ迫 #7119の利用を呼びかけ

夏季は気温の上昇とともに熱中症等で救急要請が増加、救急車が

ひっ迫する状況が続いている。救急出場が増えると、近くで待機する救急車がいなくなり、救急車の到着が遅くなるため、救える命が救えなくなる可能性がある。

令和5年中の東京消防庁管内の救急件数は過去最多を記録、救急車の現場到着まで平均9分以上かかっており、狛江消防署では、市民一人一人が熱中症等の対策を行うことは、自身の命を守るだけではなく、救急要請を減らし、誰かの命を救うことにもつながるとして、救急車の適時・適切な利用を促すとともに、「救急車か? 自分で病院か?」など迷った時は「#7119」(東京消防庁救急相談センター)へ電話するよう呼びかけている。

また、東京消防庁ホームページでは「東京版救急受診ガイド」も提供している。

問い合わせは ☎ 3480-0119 狛江消防署。



こまえくぼ 1234 からのお便り

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

災害ボランティアって? ~被災地での活動参加の流れ~

被災地の社会福祉協議会が中心となり、災害ボランティアセンターが開設され、被災者の要望(ニーズ)と個人ボランティアの調整(マッチング)を行い、両者をつなぐ役割を果たしている。



- ①災害ボランティアセンターのWebサイト等で事前に申し込みをする
- ②出発前に説明(オリエンテーション)を受け、持ち物等の準備をする
- ③災害ボランティアセンターの指示に従い被災地の現場で活動する
- ④活動終了後に気づいたことを記

狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 狛江市役所5階 ☎ 5761-5556 FAX 5761-5033

☎ info@vc.komae.org 開館時間=午前9時~午後5時 休館日=土・日曜日、祝日、年末年始

ホームページはこちら→



録、報告を行う。能登半島地震被災者支援ボランティア募集ページ→



う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■おりがみボラ 7日(金)・9月4日(土)午後2時~3時30分 こまえくぼ1234 二番館いちょうホール。折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かしている。

■切手ボラ(旧切手カフェ) 26日(土)午後1時30分~3時 あいとぴあセンター3階ボランティア室。集められた使用済み切手の整理を行

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■まち♡ボラ2024夏 9月8日(土)まで。狛江市内でできるボランティア・市民活動に参加し、地域のことを知る。対象:小学生以上(活動によって異なる) 申込:8月9日(金)までに申込フォームで申し込む。参加費:無料※活動により有料のものあり。参加には別途、ボランティア保険料金(350円~)が必要。まち♡ボラ詳細ページ→

